

呉市立昭和西小学校 二年

上野ゆかりうえの

そんなにいそがなくても

夏休みのある日、わたしは家族みんなでおか山にりよ行に行きました。わたしはとても楽しみにしていて、とう日は朝早く目が覚めました。

じゅんぴができて、出ばつしました。出ばつするとすぐにお姉ちゃんは、ねてしまったけれど、わたしはお父さんがうんてんするようすを見たり、うんてんせきと、じよしゅせきのあいだから、前のようすを見ていました。朝早い時かんだったので、ほとんど車が走っていませんでした。

しんごうが赤になったので止りました。すると、うしろから来た車が、赤しんごうをむしって行ってしまったのです。わたしはびっくりしてもう一どしんごうを見ました。やっぱり赤しんごうでした。お父さんに、

「赤しんごうをむしって行ったね。」

と、言いました。するとお父さんは、

「朝早い時かん、夜おそい時かんは、しんごうをまもらない車が多いんだ。」と、言いました。しんごうが青になって車がすすみはじめました。しばらくすると、さつき赤しんごうをむしって行った車が前を走っていました。

するとお父さんは、前の車とあいだを多くとるように走っていました。

わたしは、お父さんに、

「どうして前の車からはなれてはしるの。」と、聞きました。するとお父さんは、「前の車をうんてんしている人は、たぶん、けいたいでん話をつかいながら走っていると思うよ。」

と、言いました。わたしは、

「どうして分るの。」と、聞くとお父さんは、

「前の車は、左右にゆらゆらしながら走っている。こんなうんてんをする人は、でん話をしているか、ひよっとしたらいんしゅうんてんかもしれない。」

と、言いました。そして、

「お父さんは、あぶないうんてんをする車には、ちかづかないようにしているんだ。」と、言いました。そんな話をしているうちに車は、こうそく道ろに入っていました。

こうそく道ろに入ると、たくさんの車、いろいろな車が走っていました。

しばらくはしって行くと、ふく山サービスエリアがじこで入ることができないことが分かりました。

どうして分ったのかというと、こうそく道ろに入る前に道ろのでんこうひょうじばんにじこのことがかいてあったのと、カーラジオで道ろじようほうを聞いていたからです。でも、じこでふく山サービスエリアがつかえないのは、どうしてか、わたしはよくわからなかったのです、お父さんに、どうしてつかえないのか、聞きました。するとお父さんは、すこしかなしそうなかおをして、『たぶんしぼうじこがおこったんだと思うよ。』と、言いました。わたしはともびつくりしました。

ふく山サービスエリアにちかづいてきました。サービスエリアの入り口には、カラーコーンが多く出ていて、けいさつのパトカー、道ろこうだんの黄色いパトカー、トラックのメーカーのサービスカーが来ていました。その先に、うんてんせきぶんがブルーシートでおおわれたトラックが一台、前とうしろがこわれたトラックが一台、うしろがこわれたトラックが一台の三台のトラックがじこで、こわれていました。お父さんは、そのようすをチラッと見て、『三台の多じゅうしようとか、ついとつじこみたいだ。うんてんせきをブルーシートでおおった車のうんてん手がしんだんだろう。』と、言いました。わたしは、

「どうしてあんなじこになったのかね。」  
と、お父さんに聞きました。するとお父さんは、  
「たぶん、前の二台のトラックが、正しいちゅう車ばしよではないところにトラックをとめて、休けいか、かみんしていたのだろう。そのうしろのトラックが前のトラックがとまっているのにきづくのがおくれたのだろう。」  
と、言いました。

わたしは、しゅっぱつ前はウキウキして、楽しい気もちでいっぱいでしたが、その時はとてもかなしいきもちになっていました。

その時のじこから、じぶんかっ手なうんてんや、ルールをまもらないうんてんはじこのげんいんになることがよく分りました。わたしもルールをしつかりまもって、じこにあわないようにじてん車にのろうと思いました。

『そんなにいそがなくても・・・』  
は、わたしのお父さんの口ぐせです。